

令和2年第1回定例会 経済建設常任委員会審査記録（第1日目）

- 1 日 時 令和2年3月12日（木） 午前9時59分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 請願第1号 免税軽油制度の継続を求める請願書
議第13号 令和2年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算
- 4 出席委員（8名）

1番 川崎健二君	2番 山田勉君
3番 本間善和君	4番 竹内喜代嗣君
5番 小林重平君	6番 大滝久志君
7番 小田信人君	8番 川村敏晴君
- 5 欠席委員
なし
- 6 委員外議員
渡辺昌君
- 7 傍聴議員
稲葉久美子君 渡辺昌君 鈴木いせ子君
木村貞雄君 大滝国吉君
- 8 地方自治法第105条による出席者
議長 三田敏秋君
- 9 オブザーバーとして出席した者
なし
- 10 説明のため出席した者

副市長	忠 聡君
農林水産課長	大滝敏文君
同課農業振興室長	小野道康君（課長補佐）
同課農業振興室副参事	中川博之君
同課農業振興室係長	本保敦志君
同課林業水産振興室長	稲垣秀和君（課長補佐）
同課林業水産振興室副参事	伊藤幸夫君
同課林業水産振興室副参事	臼井信一君
同課食材魅力推進係長	小田朋子君
農業委員会事務局長	小川良和君
地域経済振興課長	川崎光一君
同課経済振興室長	山田昌実君（課長補佐）
観光課長	大滝寿君
同課観光交流室長	片岡昌幸君（課長補佐）
同課観光交流室副参事	齋藤健一君
都市計画課建築住宅室副参事	宮村勉君
荒川支所産業建設課長	渡邊修君
神林支所産業建設課長	瀬賀豪君
朝日支所産業建設課長	大滝清考君
同課産業観光室長	小池一栄君（課長補佐）

山北支所産業建設課長

加藤 泰 君

11 議会事務局職員

局 長 小 林 政 一
副 参 事 鈴 木 涉

(午前9時59分)

委員長(川村敏晴君)開会を宣する。

○当委員会の審査については、審査日程どおりに進むことに異議なく、そのように決定する。

日程第1 請願第1号 免税軽油制度の継続を求める請願書を議題とし、紹介議員(渡辺 昌君)から補足説明を受けた後、審査に入る。

(補足説明)

渡辺 昌 おはようございます。この請願については、本会議初日に補足説明させていただいたので、特につけ足すことはないのだけれども、1点だけ参考までに、平成30年度蒲萄スキー場の軽油取引税免税額についてであるけれども、これは県税であるけれども、主に圧雪車に使われるわけだけれども、使った量が1万3,830リットルで、そこに軽油税32.1円を掛けて、平成30年度にこの制度によって免税された額というのは44万3,943円であった。一応参考までに述べさせていただいた。以上だ。

(審 査)

質疑なし

以上で質疑を終結し、討論を求めたが討論なく、起立による採決を行った結果、請願第1号は、起立全員にて採択すべきものと決定した。

日程第2 議第13号 令和2年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算を議題とし、担当課長(観光課長 大滝 寿君)から説明を受けた後、質疑に入る。

(説 明)

観光 課長 おはようございます。観光課の大滝だ。よろしくお願ひいたす。それでは、議第13号令和2年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算について説明させていただく。予算書の249Pからになる。令和2年度の蒲萄スキー場特別会計については、令和元年度と比べて220万円ほど減額した予算となっている。歳入歳出それぞれ4,780万円を計上させていただいたものになる。スキー場については、今年度残念ながら一回も開設できなかったのだが、来年度は開設期間を令和2年12月26日から令和3年の3月7日までの72日間を予定して開設するものである。入場者数の予定を延べ1万人と予定して、売上金の目標1,308万3,000円ということで予定している。歳入の項目になるけれども、255P、256Pに詳細が書いてある。売上金として30万円、それからスキー場の使用料として992万円、それから一般会計からの繰入金として3,471万6,000円、それから繰越金として1万円、それから雑収入として286万3,000円を計上させていただいている。それから、歳出については次のページになる。一般管理経費の中で蒲萄スキー場の一般管理経費として、前年度予算プラス9万7,000円の125万5,000円ということで計上させていただいている。これは、例年どおりのもの

になるので、そのまま変動は9万7,000円となるが、説明欄2番目の蒲萄スキー場の運営経費になるけれども、これがマイナスの229万円、前年度に比べてその予算になる。この主なものとしては、工事請負費が前年度の予算に対して282万2,000円をマイナスにしているものである。それから、ゲレンデの草刈り業務委託料、下から10番目のものになるが、これが250万8,000円ということで、令和元年度の予算より66万7,000円ほどプラスになっている。それから、事務補助員、現場作業員等の報酬については、来年度から会計年度任用職員ということでの計上になるので、その辺の扱いとなっている。それから、次のページになり、公債費の部分になるが、260Pの一番上、起債の償還元金が償還金として133万円、それからその下、起債償還利子といたして、この部分については山麓のトイレを建てたときの利子、それからスキーセンター改修と圧雪車を購入したときの利子で合計1万8,000円ということである。それから、予備費20万円ということで計上させていただいて、本年度予算額が4,780万円、歳入歳出ともそのような金額になる。以上だ。

(質 疑)

- 本間 善和 支出のほうでちょっとお伺いしたいと思うので、ひとつお願いします。最初に、現場作業員について、賃金から報酬という格好で変わったという内容になっているのだが、内容についてはまた後ほどという格好で、何名分これ計上してあるのだろうか。
- 観光 課長 申し上げる。事務補助員で2名、これは主にチケット販売等に当たる方だし、それから現場作業員ということで22名を予定している。
- 本間 善和 ちょっと今22名プラス2名というのが、これ昨年度より2名ふえているのではないか。これどうしてだろうか。昨年度の予算計上より2名ふえているという、昨年度22名でこれ積算していたと思うのだ。
- 観光 課長 現場作業員のあれは22名でそのままだ。それから、事務補助員として2名がプラスされる。
- 本間 善和 引き続きなのだけれども、例えば報酬という格好で今度支出すると、賃金ではないから。例えばことしみたいな格好で雪が降らなかったというときの支払いというのは、ちょっと事例だけれども、どんな格好で支払うのだろうか、イメージとして。
- 観光 課長 今のところ、今年度と同じような扱いでできるのかなというふうに思っているのだが、今年度は待機期間という形で雪が降らない、例年そうなのだけれども、日額の3割分を支払うというような格好で進めさせていただいた。実質作業のお願いするときには当然その分の日当ということで出しているのだが、ほぼほぼ同じような扱いでできるかなというふうに今のところは思っている。
- 本間 善和 この日額の3割、はっきり言えば待機料という格好なのだろうか。どこか規約か何かで書いてあるのか。
- 観光 課長 今おっしゃったように待機料ということで、除雪作業員のやつとかを見本にして今まで来たということで聞いている。
- 本間 善和 別項目になるが、ゲレンデの草刈り、先ほど昨年度より60万円ぐらいふえているという格好なのだが、面積がふえたのか、それとも作業場所の面積がふえたのか、業者の見積もり場所が違ったのか、その辺のふえた理由というのは何なのだろう。
- 観光 課長 例年朝日地区の猟友会の方たちにこれまではお願いしていた経緯があって、低料金でやっていただいていたわけなのだが、今年度予算計上した後になのだが、なかなかその対応ができないという話があって、一応業者さんに当たった。その結果、来

年度以降も猟友会さん是对応ができないということなので、業者さん等に参考見積もりをいただいて、その結果こうやって計上させていただいたものになる。

本間 善和 ちよつと確認なのだけれども、そうすると地元の皆さんができなくなったので、民間の例えば森林組合さんとか、そういう格好の業者さんから見積もりをとって積算したため、高くなったということなのだね、面積はふえないで。

観光 課長 そのとおりである。

本間 善和 わかった。

以上で質疑を終結し、討論を求めたが討論なく、起立による採決を行った結果、議第13号については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと決定した。

委員長（川村敏晴君）散会を宣する。

（午前10時15分）